

小児期からのアトピーと顔面浸出症状を経て回復した成人アトピーの経過 (33 歳 女性)

症例 ID：001-30-KMy | 記録日：2002 年 7 月 31 日

1. 診断・治療前経過

小学校 2～3 年頃から皮膚症状があり、中学・高校期には太腿内側、臀部、足背に浸出性の傷が出て包帯を使用することがありました。就職後は顔から浸出液が繰り返し出るようになり、入院時の総 IgE は 10000 を超えていました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	複数の医療機関でステロイド外用薬を使用し、救急受診時にはステロイド点滴を受けました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	小児期から成人期まで断続的に使用しました。
中止時期	妊娠を契機に一度中止し、その後再使用を経て松本医院受診時に中止しました。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
小学校 2～3 年頃	発症	皮膚症状が出始めました。
中学～高校期	部分的悪化	太腿内側、臀部、足背に浸出性の傷が出て、包帯を使用しました。
就職後	顔面症状	顔から浸出液が出て、4～5 日で治まっては約 1 週間後に再燃する状態を繰り返しました。
入院時	検査・治療	総 IgE が 10000 を超え、皮膚科治療を受けました。
その後	強い感染症状	顔と腕に膿を伴う症状が出て、救急受診でステロイド点滴を受けました。
松本医院治療 3 週間	初期変化	顔上半分のごわつきが軽減し、手指と手背の皮膚が滑らかになり始めました。
治療 2 か月頃	リバウンド	顔全体が浸出性となり、朝に固まった浸出液を洗い流す生活が約 1 か月続きました。
治療 7 か月頃	再度の波	両眼が腫れ、目周囲から再び浸出液が出ました。
治療 1 年 4 か月	記録時点	春の花粉期にも強い浸出症状は出ず、長男の幼稚園生活を支えながら元気に過ごしていました。

4. ピーク時期

ピークは、治療 2 か月頃に顔全体が浸出性となり、朝起きると浸出液が固まって、毎日すぐシャワーを浴びる状態が約 1 か月続いた時期です。

5. 困りごと

- 顔の浸出症状により、自分の顔を見ることがつらい時期がありました。
- 目の腫れと目周囲の浸出液が再燃し、精神的に落ち込むことがありました。
- 幼い子どもの世話をしながら、自身が寝込むのではないかと不安がありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

時期	項目	値
入院時	総 IgE	10000 超

7. 経過のまとめ

治療1年4か月後には、春の花粉期にも強い浸出症状は出ず、長男の幼稚園生活を支えながら元気に過ごしていました。洗顔後のかさつきが減り、顔の皮膚が滑らかになり、色調も以前より明るくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。